

## 大晦日早朝！船舶が安芸灘南航路第四号灯浮標へ衝突

2009年の最後の日、大晦日早朝、韓国籍の大型コンテナ船(8,651ト)が安芸灘南航路第四号灯浮標へ衝突しました。この日は、前日からの冬型気圧配置により強風が止まず悪天候となっている最中のできごとでした。(位置下記)

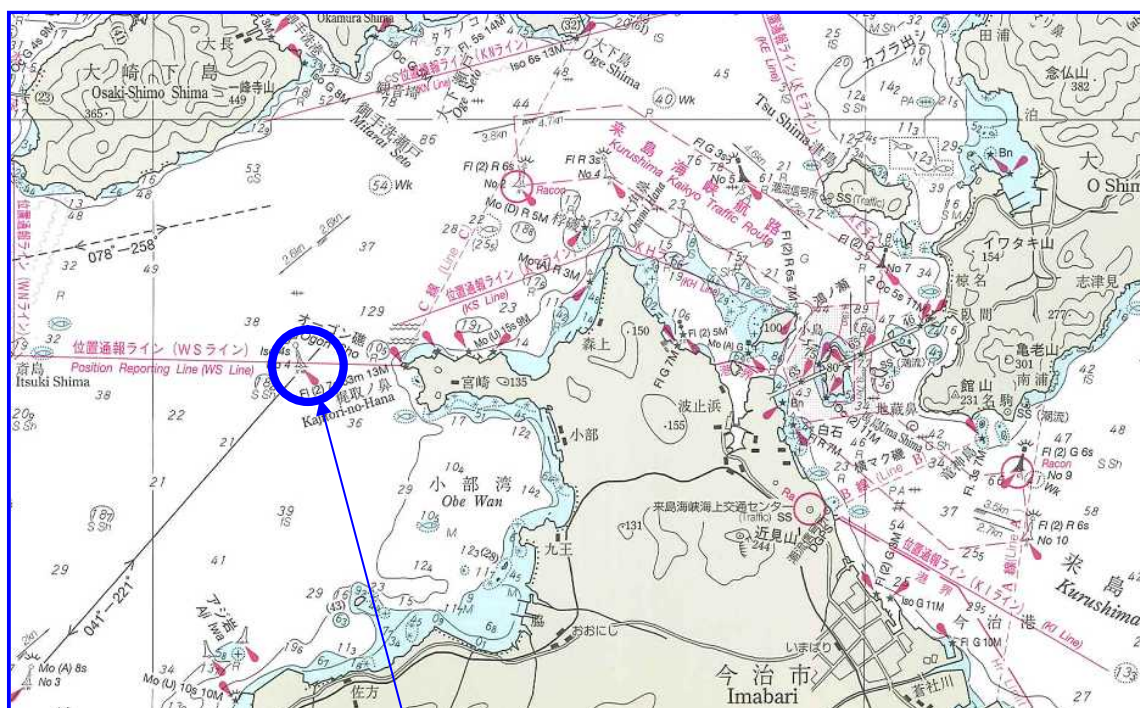
来島海峡航路と安芸灘を結ぶ要所にある安芸灘南航路第四号灯浮標は、今治海上保安部管内の灯浮標の中でも来島海峡を目指す標識のひとつで、船舶が安全航行するうえでなくてはならない重要な航路標識です。

最近では、備後灘航路第二号灯浮標が衝突被害に遭い保守管理する当保安部としては、見張り等の注意を十分行なうよう訪船等を行い海事関係者に指導を強化してきたところです。

この種の船舶衝突は、不可抗力で発生するものではありません。船舶の操船者が見張りを怠ることがなければ衝突は避けられます。

今回の衝突でこの灯浮標は大きく損傷を受けたばかりでなく、海図に記載されている定められた位置から北東方向に約140mも移動しました。この復旧にあたっては、早期実施を目指して調整中ですが、その経費は原因者である船舶の賠償責任者に補償してもらうことになります。

これらの代償は非常に高くつくものとなります。



安芸灘南航路第四号灯浮標

船舶衝突により海図記載位置より北東方向約140m移動



安芸灘南航路第四号灯浮標

船舶が衝突したため灯浮標の上部に設置してある枠が上部に曲がってもう少して灯ろうが破損するところでした。

この衝突で三角錐の形をしたレーダーレフレクターという大切な設備も海中に落下してなくなりました。

通航船舶の大切な標識です。



この装置から特殊塗料が発射されます

この特殊装置で必ず衝突した船舶を特定できます。逃げ得は絶対許しません。



船舶が衝突したときに保安部に通報する特殊な装置が灯浮標に取付けられています。  
この装置から特殊な塗料が船舶めがけて発射します。  
灯浮標に衝突したときに塗料が付着した状態です。